Junior High School / High School

海城（かいじょう）中学高等学校

〒169-0072東京都新宿区大久保3-6-1
https://www.kaijo.ed.jp

男子校　中2 9月まで転編OK

いまの時代の“新しい紳士”を育成

先生からのメッセージ
中田先生/校長特別補佐

男子校で共に過ごした学友は卒業して他の大学に進んでも終生付き合える友だちになります。日本国内でも今や数少ない“男子校”へ是非!

大学入試改革に対応した中学校選びの大切さ

2014年12月、中央教育審議会は、高校教育、大学教育、大学入試の一体改革に関する答申を発表。これによって大学入試の抜本的な改革が行われることになりました。

今回の大学入試改革の本質は、これからのグローバル社会や日本の成熟化社会に対応する人材を育成するため、中高段階からそれに対応した「新しい学力」と「新しい人間力」を身に付けさせ、それを大学入試でも重視しようというものです。そしてこの「新しい学力」とは、従来の「知識を獲得し、定着させる」だけでなく、「知識を活用」し、「自ら課題を発見・設定し、解決する力」のこと。「新しい人間力」とは、「主体性」「多様性」「協働性」です。科学の高度化に伴って学んだ知識がすぐに陳腐化する時代において、生涯にわたって「主体的」に学び続ける姿勢、世界中の人々と共生するための力として「多様性」「協働性」は必須です。

この改革は5年後の2020年度、つまり、現在の新中学2年生が大学入試を迎える年から進行します。そのため、これから中学校を探される際には、今後をきちんと見据えた学校かどうか、見極めていく必要があるはずです。

政府の提言と合致した本校の教育内容

本校は、24年前、創立100周年を迎えた翌年の1992年から「教育改革」をスタート。以来、「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神の下、いまの時代に適った〝リベラルでフェアな精神〟を持った「新しい紳士」の育成に努めてきました。本校の考える「国家・社会に有為な人材」とは、一言で言うならば、新しい時代が要請する「人間力と学力のバランスがとれた人間」です。そしてこれは、上記中央教育審議会の答申が目指すこれからの時代の若者像に合致しています。

「新しい人間力」と「新しい学力」を養うべく、本校が実践する教育の取り組みは下記の通りです。

●体験学習の実践

国境を越えて、多様な価値観が介在するグローバル社会において、互いの違いを理解・尊重する「共生能力」、異質な者同士がよいところを引き出しあい、新たな価値を創造する「協働の力」は必須です。そのため本校では、2つの体験学習を導入しています。

1つは、中1・中2次に行うPA(プロジェクトアドベンチャー)。さまざまなアクティビティを通じて人間関係を構築していくプログラムです。与えられたテーマを解決し、良かった点を認め合い、さらによくする話し合いを行う過程で、互いの存在を認め、信頼関係を築いていきます。また、自分の意思に基づいてチャレンジする負荷の高い課題では、必ず仲間からのサポートを得ます。人間が勇気をもって何かに挑戦するときは、信頼に裏打ちされた仲間のサポートが大切だということを学ぶのです。

2つ目は、中1~中3次のDE(ドラマエデュケーション)です。これは演劇的手法を取り入れた学習プログラム。生徒たちは、たとえば、班ごとに一人の大人から聞いたエピソードに基づき、班全員でシナリオを書き、ドラマとして演じます。一連の作業を通じて、生徒たちは先ずは他者との異質性に気付き、続いてイメージのすり合わせ・共有の術を学びます。

●課題設定・解決能力の育成

複雑化した現代社会では、難解な諸問題を解決するため、従来の記憶・暗記型の学力だけではなく、自ら課題を見つけ、調査、熟考し、価値を判断し、選び取った解決策を人に分かりやすく伝えるといった統合的な問題解決能力が必要不可欠です。

そうした力を養成すべく、中1から中3まで、『社会科総合学習』を週2時間で実施しています。レポートのテーマを自ら設定し、企業などへ取材し、文献を調べ、考えをまとめ、発表し、レポートに書くことを毎学期行います。そして中3では、各自が原稿用紙30枚以上の卒業論文を書き上げます。この取り組みは、各所で高い評価を得ています。

グローバル教育の推進 高レベルな教育を実施

文部科学省では、2012年度から、「グローバル人材育成推進事業」や「グローバル30」など、大学教育のグローバル化を推進し、世界で活躍できる人材を育成する事業を本格的に開始しています。本校でも、時を同じくして2012年度に「グローバル教育部」を発足。以来、その内容を拡充させています。

●英会話の取り出し授業

放課後に行っていた特別英会語の講習も継続しつつ、現在は、正規の中1・中2の『英会話』の授業で、英語力のある生徒を対象にした「取り出し授業」を実施しています。また、教育内容の違いによって遅れがちな国語や社会などは、きちんとフォローしていきます。

●英語漬けの合宿

中2・中3・高1次に、長野県にて、2泊3日で英語漬けの合宿を行います。

●高レベルな海外研修

中3次にアメリカ、高1次にイギリスでの研修を実施しています。高校での長期海外留学では、復学の際、単位を認める内規も整えています。

●海外大学への進路支援

高1から海外進学ガイダンスを開催するほか、SAT®やTOEFL®対策や書類作成、個別相談など、日本語の話せるネイティブ教員などが全面的にバックアップしていきます。

●分厚いリベラルアーツ

ここぞというときに、ぶれることのない真のグローバルリーダーを養成すべく、一般教養の講座を充実させるなどして、哲学的な思考力や社会的なフェアネスの精神を涵養します。

帰国生入試　生徒募集要項

募集人員	男子30名		
応募資格	①平成29年3月小学校卒業見込みの方。　②同居の保護者、または保護者の認める成人のもとから通学できる方。 ③平成23年4月1日から平成29年3月31日までの間に2年以上海外に在住し、かつ、平成26年7月1日以降に帰国した方。　◇帰国生入試の受験者は、一般入試①・一般入試②も受験可能です。	出願期間	**平成28年12月12日(月)～平成29年1月6日(金)** 取扱時間：日・祝を除く、平日午前9時から午後4時まで(土・1/6：正午まで)。ただし、年末年始の休業日(12/28(水)～1/4(水)を除く。郵送は12/16(金)必着。
		出願手続	**入学願書・受験料振込票・受験票・面接カード 海外生活証明書**
		試験日	**平成29年1月7日(土)**
科目	**【A方式】算数・国語・社会・理科・面接　【B方式】算数・総合・面接　【C方式】算数・総合・英語・面接**※A・B・C方式のいずれかを選択。算数はA・B・C方式共通問題。総合はB・C方式共通問題　※面接はいずれも10分程度、受験生のみ　※面接時に「生活していた国や地域と日本との違い」について2分程度の日本語スピーチあり		

2016年度　大学合格実績

( )は現役

国公立大学	
東京大学	30(20)
京都大学	6(5)
東京工業大学	15(13)
一橋大学	15(14)
国公立医学部	46(27)
私立大学	
早稲田大学	126(89)
慶應義塾大学	100(70)

※国公立医学部には東大理III1名・防衛医科大6名を含む。　※上記は、3月23日現在判明分からの抜粋。

問い合わせ一覧 ▶ P.152